

珍しい交響曲 ドイツ Minor Symphonies German

作曲家		生没年	交響曲の数	曲名	評価 ★★★★★:ぜひ聞いて欲しい ☆☆☆☆:聞く価値はある ※※:どちらとも言えない ×:聞く価値なし	コメント	○の曲のスコアは保有しています。	CD番号	レーベル
Louis Spor	シュポーア	1784-1859	9	交響曲第3番(1828)	※※	第1楽章は聞きごたえがありますが、他の3つの楽章は聞く価値なしです。		8.555533	Naxos
				交響曲第6番(1839) 副題:歴史的交響曲	×	第1楽章:バッハ・ヘンデルの時代(1720) 第2楽章:ハイドン・モーツァルトの時代(1740) 第3楽章:ベートーベンの時代(1810) 第4楽章:現代(1840) と名付けて、時代ごとの様式で作曲したとの触れ込みの曲ですが、どの楽章も似たような雰囲気のだらった感じでした。			
Carl Loewe	レーヴェ	1796-1869	2	交響曲第1番(1834)	※※	個性的ではない。2楽章のスケルツォは2つのトリオを挟んで長い。		55319	cpo
				交響曲第2番(1835)	※※	個性的ではない。第1楽章は短調のムード。			
Franz Paul Lachner	ラツハナー	1803-1890	8	交響曲第3番(1834)	☆☆☆☆	特に個性があるわけではないですが、気持ちよく聞けます。		555 081-2	cpo
Felix Mendelssohn	メンデルスゾーン	1809-1847	5	交響曲第2番(1840)	☆☆☆☆	第1部(第1~第3楽章)は管弦楽のみ、第2部に合唱が入り宗教合唱曲のような感じになります。		5099909 646421 合唱曲全集	EMI
				交響曲第1番(1847)	☆☆☆☆	気持ちよく聞けます。第1,4楽章は聞き映えがします。		555 293-2	cpo
				交響曲第2番(1847)	※※	第1楽章は聞き映えがします。		555 293-2	cpo
				交響曲第3番(1854)	※※	4つの楽章で32分。第4楽章にはピッコロ、トライアングル、シンバル、大太鼓が使われ、初演時には"軍隊"との副題がついていました。特に聴き映えはしません。		555 511-2	cpo

Emilie Mayer	マイヤー	1812-1883	8	交響曲第4番(1850)	★★★★★	大変立派なドイツの交響曲です。生年はシューマンとほぼ同じですが、交響曲の技術的な出来栄はシューマンより上だと思います。ただし、元の管弦楽譜は失われ、ピアノ連弾譜からの再現なので、オーケストレーションは本人のものではありません。		C5339	capriccio
				交響曲第7番(1862)	☆☆☆☆	第5, 6, 8番の楽譜は失われています。4つの楽章で35分。第1楽章の短調のムードは聞き映えがします。		555 511-2	cpo
Richard Wagner	ワーグナー	1813-1883	1	交響曲ハ長調(1832)	※※	若い時の作品ですが、しっかりした曲です。第1楽章にはベートーベンの第7交響曲の冒頭に似た部分があります。スコアを購入してその薄さに驚きました。書式が簡潔ということでしょう。	○	LPです。 ET 5073	Scahlplatten
Georg Goltermann	ゴルターマン	1824-1898		交響曲イ短調(1851)	☆☆☆☆	4つの楽章で31分。第1楽章では明快な短調の雰囲気味わえます。以下の楽章では長調の部分が多いです。		C5469	Capriccio
Albert Dietrich	ディートリヒ	1829-1908	1	交響曲ニ短調(1869)	※※	4楽章で43分。第1楽章は強い短調のムード、第3楽章のスケルツォも聞けます。長調の第4楽章はありきたいで聞けません。		8574507	Naxos
Friedrich Gerunshiem	ゲルンスハイム	1839-1916	4	交響曲第1番(1875)	☆☆☆☆	いかにもドイツの交響曲という音がします。第3楽章スケルツォの主部などはほとんどベートーベンです。第4楽章が弱い。		74321636352 交響曲全集	Arte Nova
				交響曲第2番(1882)	※※	第4楽章の旋律はブラームスの第1番の4楽章、あるいはハンス・ロットの交響曲の第4楽章の雰囲気と似かよっています。このような作風がはやっていたのでしょうか。			Arte Nova
				交響曲第3番((1887)	☆☆☆☆	第1, 4楽章は聞けます。			Arte Nova
				交響曲第4番(1895)	☆☆☆☆	第1楽章は聞き映えがします。第4楽章にわかりやすい旋律が登場しますが、ブラームスのように魅力的ではありません。			Arte Nova
Wilhelm Berger	ベルガー	1861-1911	2	交響曲第1番(1898)	☆☆☆☆	聞きやすい曲です。第4楽章は気楽すぎますが。		555 462-2	cpo
Fritz Volbach	フォルバッハ	1861-1940	1	交響曲 口短調(1908)	※※	第1, 4楽章には聞き映えのする部分があります。コラル風の旋律が多く登場します。Vnのソロも目立ちます。		777 886-2	cpo

Hugo Kaun	カウン	1863-1932		交響曲第3番(1914)	※※	4つの楽章で50分。特に聴きどころ無し。	555572	cpo
Paul Felix Weingartner	ワインガルトナー	1863-1942	7	交響曲第1番(1898)	※※	指揮者として有名なワインガルトナーです。たくさんの作品を残しています。第1番はまだ薄味ですが、楽しく聴けます。	999981	cpo 交響曲全集、管弦楽集
				交響曲第2番(1901)	☆☆☆☆	変化に富んでいて聞きやすいです。第2楽章はブルックナーの交響曲第5番のスケルツォに似た雰囲気があります。第3楽章には長い金管のコラールがあります。	777098	
				交響曲第3番(1910)	☆☆☆☆	面白く聴けます。3拍子の第2楽章はほとんどミュージカルのような楽しさです。第4楽章にはヨハン・シュトラウスの喜歌劇こうもりの序曲の旋律が長々と引用されます。65分の大曲。	777099	
				交響曲第4番(1917)	※※	軽い感じの曲で魅力に乏しいです。	777100	
				交響曲第5番(1926)	※※	不安な感じの響きが続きますが魅力に乏しいです。	777101	
				交響曲第6番(1929)	※※	1928年のシューベルト没後100年記念の作曲コンクールに関連した曲です。ワインガルトナーは主催者側の立場なので応募はしていません。第1楽章にはシューベルトの第7(9)番(ハ長調)の第1楽章の主題を変形した旋律が登場します。第2楽章はシューベルトが未完成交響曲の第3楽章としてスケッチを残しているスケルツォをオーケストレーションしたものです。どの楽章も楽しくありません。	777102	
				交響曲第7番(1937)	※※	4つの楽章で62分。第4楽章だけで30分。第2、4楽章に独唱、合唱が入ります。最後の交響曲で合唱付きとということでベートーベンの第九のような曲を期待しましたが、まったくそうでは無く、平凡な曲です。	777103	
Siegmund von Hausegger	ハウゼッガー	1872-1948	1	自然交響曲(1911) 大オーケストラと合唱 のために	※※	4つの楽章で57分。第4楽章では合唱が登場。大がかりな曲ですが、特に印象には残りません。	55606	Cpo
Richard Wetz	ヴェッツ	1875-1935	3	交響曲第1番(1917)	※※	第2楽章のスケルツォはブルックナー風。	999 272-2	cpo

Wilhelm Furtqangler	フルトヴェングラー	1886-1954	3	交響曲第1番(1941)	※※	4つの楽章で88分という大曲です。フルトヴェングラーという名前から予想した純ゲルマン風の曲ではなく、いろいろや要素が混じった無国籍風の曲です。		555 377-2	cpo
Hanns Eisler	アイスラー	1898-1962		ライプツヒ交響曲 (1962,1998)	※※	未完で終わった作品をティロ・メデク [1940-2006]が既存のアイスラーの映画音楽の中から様々な素材を選び完成させた曲。4つの楽章で20分。充実感がない。		C5368	Capriccio
Kurt Albrecht	アルブレヒト	1900-1950		弦楽とティンパニのための 交響曲	※※	4つの楽章で40分。聴ける部分もあります。		LC 95318	KKE
Kurt Weill	ワイル	1900-1950	2	交響曲第1番(1926)	☆☆☆☆	単一楽章。聞きどころが多くあります。		LPです。 SLA 6026	LONDON
				交響曲第2番(1933)	☆☆☆☆	特に第3楽章は楽しく聴けます。			